

別紙様式3

平成30年度 第3回 魅力豊かな高校づくり推進協議会 議事要旨

日 時	平成31年2月6日(水) 10:00~11:30
場 所	揖斐高等学校 会議室
出席者 (敬称略、 50音順)	<p>(委員)</p> <p>石橋寿恵広 元揖斐郡小中学校校長会長 小野島英明 揖斐建設業協会事務局長 折戸 朱美 揖斐厚生病院副看護部長 折戸 克明 北和中学校校長 国枝慎太郎 岐阜県議会議員 小森小百合 揖斐高等学校PTA会長 杉山 洋子 揖斐川町社会教育委員 高見恵美子 揖斐川町教育委員会社会教育文化課課長補佐 富田 和弘 揖斐川町町長 野原 靖 揖斐川町教育長 服部 均 揖斐川町商工会長 牧村 範康 岐阜県議会議員 松本 信弘 揖斐川中学校校長 三島 晃照 揖斐川町教育委員会社会教育文化課長</p> <p>(高校)</p> <p>高橋由美子 校長 澤藤 哲也 教頭 小中 敏嗣 事務長 和田 摂子 教務主任 古川 竜秋 生徒指導主事 松岡 順 特別活動部長 松野 早苗 生活環境科主任 安野 幸成 地域連携担当 中村美代子 地域連携担当</p> <p>(県教育委員会)</p> <p>高橋 宗彦 教育総務課教育主管</p>
議事概要	<p>1 日程内容</p> <p>(1) 校長挨拶</p> <p>(2) 今年度の連携活動に対する評価及び改善点</p> <p>① 学習成果発表会、公開リハーサル</p> <p>② 中高連携活動(中2体験、中3サマースクール、出前授業等)</p> <p>③ 地域ボランティア(地域の行事、いびがわマラソン)</p> <p>④ 校外学習(地域医療講座、看護体験、幼稚園実習等)</p> <p>⑤ 通年の研修(デュアル実習、介護職員初任者研修)</p> <p>⑥ 外部講師による講座(模擬選挙、介護、食育、上級救命講習等)</p> <p>⑦ その他</p>

	<p>(3) 魅力ある高校づくりへの提言 (4) 閉会挨拶</p>
	<p>2 連携活動に対する評価及び改善点、魅力ある高校づくりへの提言</p> <p>【提言 1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会の意向が県の施策に反映されないのであるならば、本会の意義は薄い。会議の目的を明確にすべきである。 <p>【提言 2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 100 周年という節目に向かって、地域で一体となり盛り上げていきたい。施設設備の充実も考えていただきたい。 ・ 学校からの情報発信として、空き店舗を利用したアンテナショップ的なものの企画ができるとよい。 <p>【提言 3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習成果発表会の素晴らしい成果を町民にも見せたい。揖斐高校のことは町立高校という思いでみている。さらなる情報発信をお願いしたい。今年 10 月の町の行事に高校生ボランティアとして活躍してもらいたいと考えている。 ・ 「さざれ石」（揖斐川町の菓子店と協力して本校生徒が試作した菓子）の商品化をぜひお願いしたい。 <p>【提言 4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校低学年段階から揖斐高校と中学校との中高連携を意識させることは大変重要であると考えます。特に学習成果発表会の公開リハーサルを町内の中学 2 年生が見学できたことは良かった。 <p>【提言 5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習成果発表会の公開リハーサルを見せていただいた。ステージに立つ生徒が堂々としている姿が印象的だった。中学生との感想交流ができる場を設定していただくと、一層中学生の関心も高まると思う。 ・ 高校生の出前授業も好評である。高校生の知識・技術が身に付くまでの専門的な学習分野も紹介してくれるとよい。 <p>【提言 6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習成果発表会では、高校生の学びの深さに感動した。 ・ 出前講座にやってくる高校生 3 年生は、自信をもって実習のコーディネートを行っていた。同時に指導役をした 2 年生と比較すると、1 年間の学習による成長の度合いがよく分かった。 ・ 来年度入学希望者の部活動の要望に柔軟に対応していただけないだろうか。 <p>【提言 7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表はもとより展示内容も良かった。町内のリーダー研修会では揖斐高生が積極的に活動してくれた。 <p>【提言 8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習成果発表会では、新しい制服、創立 100 周年にちなんだ研究発表、日常生活に結びつく展示等に感動しました。 <p>【提言 9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習成果発表会はこれまで 3 回見たが、揖斐高校の伝統の引き継ぎがなされていた。デュアル実習の発表の姿、和装のショーも素晴らしかった。 ・ 募集定員は減るが、揖斐高校で学ぶ専門的内容（生活環境科の学習など）を前面に出すとよい。部活動では、生徒のやる気を大切にもらいたい。

【提言10】

- ・保護者のアンケートによると、施設設備の満足度が低い。
- ・揖斐高生が町内のラジオ体操へ参加してくれたことについては、従来の中学生リーダー以上に頼もしかった。今後は、この取組を揖斐川町だけに限定せず、生徒が住んでいる他の地域の活性化にもつなげられるとよい。

【提言11】

- ・学習成果発表会は、一般の町民にも見せたい。また揖斐川町の中学だけではなく、希望者でいいので郡内の他中学生にも見学の機会を設けるとよい。
- ・体育系部活動の練習風景の様子もPRするとよい。
- ・創立100周年に向け、町全体の気運を盛り上げたい。

【提言12】

- ・学習成果発表会の公開リハーサルは良かった。終了後、会場で中学生の感想交流もあるとよい。
- ・デュアル実習は中学生にとって魅力のある取組である。生徒の実践発表も、実習した内容や身に付いた力を、自信をもって話していた。今後、発表内容や話し方などについて、生徒一人一人の特色が発揮できるように指導されるとよい。
- ・和装の資格取得、合格までの努力の過程がわかるような映像がPRの内容にあると、更に和装コースの魅力を伝えられると考える。

【提言13】

- ・デュアル実習の生徒を引き受けた。当初は不安を感じたが、1年経つと、生徒は大きく成長してくれた。デュアル実習の成果をもっとアピールして今後も受け入れ先企業が増えるるとよい。

【提言14】

- ・デュアル実習に参加する人数が増えるるとよい。地域の企業を知ってもらう機会を設け、デュアル実習を経験した卒業生やデュアル実習を受け入れた企業からも意見交換する場があると、今後のデュアル実習が充実すると考える。

3 まとめ

<県教育委員会より>

グループ1の10校は今年度でこの協議会を終える。これら10校は、地域に学校をどうアピールするか、地域と生徒がどう触れ合うかをテーマに、様々な取組を行ってきた。グループ2の揖斐高校は、来年度も協議会を継続し、生徒が地域に出ていくことにより揖斐高校をどのように活性化させるのか、検証する必要がある。

<校長より>

デュアル実習が本校の魅力であることが改めて分かった。デュアル実習への参加人数や今後の方向性も明確にしていきたい。今日いただいたご意見をもとに慎重審議し、3年目に引き継いでいきたい。